

都市計画道路 松之木千島線(松之木～江名子工区)の整備（建設課）

○事業の概要

都市計画道路松之木千島線は、市街地の交通混雑の解消や、通過交通の迂回を図るための内環状線を構成する重要な道路です。

当該事業区間が内環状線で唯一ミッシングリンク（未整備区間）となっているため、市外部からの通過交通が市街地中心部に流入し、慢性的な渋滞を引き起こすなど市民生活に大きな影響を与えています。こうしたミッシングリンクの解消は、大規模災害時の代替ルートや地域経済の強化に大きな効果があり、地域の要望も強く、早期の整備完成に向け取り組んでいます。



■松之木町側から望む（着工前）



■江名子町側から望む（着工前）



○事業規模

事業区間：岐阜県高山市松之木町～江名子町

延長規格：L=1.66km 3種3級 W=11.0m

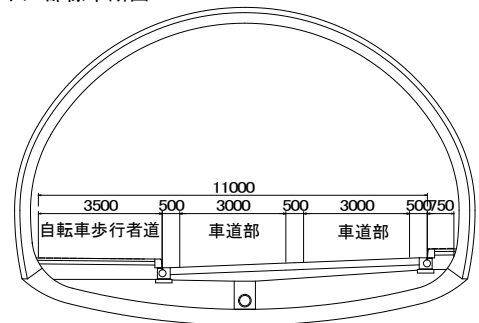
※内トンネル部 第1トンネル L=272m

第2トンネル L=860m

工事期間：R5～R11

計画額：約110億円

■トンネル部標準断面



○令和7年4月時点での進捗状況

令和5年度より松之木町側から工事に着手しました。

ボックスカルバートや左岸路体盛土、橋台が完成し、現在は右岸路体盛土を施工中です。

橋梁上部工は桁の製作が終了し、夏頃から架設予定で、トンネル工事は秋頃から掘削開始予定です。

○建設課職員の業務

事業を始めるには、まず道路の概略設計を行い、地元町内会や関係者へ事業の概要やスケジュールなどの説明を行います。

ある程度道路の線形が決まった時点で、今度は詳細な設計を行い、再度、地元町内会や関係者に説明します。その後、道路整備によって移転が必要となる建物等の調査や、用地の測量を行い、事業用地取得に向けた交渉を進めていきます。

事業用地の取得や、建物等の移転が完了したら、ようやく工事が実施できる段階となり、技術職員による工事費積算や工事監督業務がスタートします。

松之木千島線では、トンネルをはじめ橋梁やボックスカルバートなど、様々な工種が含まれ、なかなか経験できない著大事業です。大変なこともあります、早期完成に向け職員一同がんばっています。

■現在の松之木町側の状況（R7.4）

